

農研機構・中央農業総合研究センター（茨城県つくば市）は、来る3月18日、東京大学において「中央農研市民講座 in 東京：未来に向かう農業技術 - IT で拓く次世代農業 - 」のテーマで、中央農研における研究の一端を分かりやすくご紹介いたします。つきましては、本市民講座にふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

中央農研市民講座 in 東京：未来に向かう農業技術 - IT で拓く次世代農業 -
<http://narc.naro.affrc.go.jp/event/h22/kouza1103t/index.html>

開催日時：平成23年 3月18日（金） 13：30～15：30

開催場所：東京大学弥生講堂一条ホール

参集範囲：どなたでも参加できます

定 員：250名

参加費：無料（事前連絡は不要です）

講演内容：

1) 「新品種の育成期間を大幅に短縮するゲノム育種とは？」

演者 林武司 データマイニング研究チーム長

農作物、家畜の新品種育成を革新的に進めるために開発された、有用な遺伝子（ゲノム）情報を手際よく拾い出すデータマイニング手法とその適用、ならびにゲノム育種の将来について紹介します。

2) 「情報通信技術とセンサ技術が拓く新しい農業」

演者 平藤雅之 フィールドモニタリング研究チーム長

情報通信技術の進歩は農業技術にも大きな変革をもたらしつつあります。農業・環境用センサネットワークとして開発されたフィールドサーバ等の最新技術と新しい農業のイメージを紹介します。

なお、当日は中央農研の主要な研究成果なども会場に展示する予定であります。